

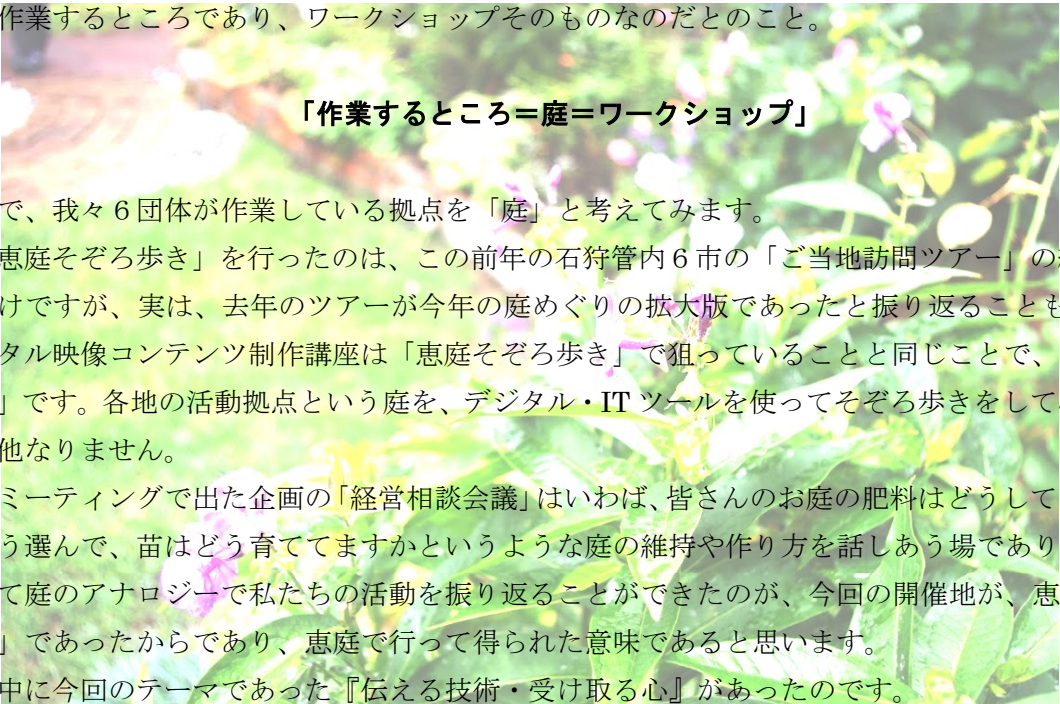
## はじめに

2008年にコミュニティをはぐくむ「場」を考え、2009年にはみんなで「連携」を考えました。そして2010年にはみんなで連携を「つくる」ことまで取り組んだのがここ数年の私たちの取り組みです。3年かけて連携を実感し、今後は実践を積み重ねる段階に入っていきます。

前回、千歳での合宿では今年（2011年）は「インターネットテレビ」をみんなでやろうという話が上がり終了しました。本報告書に記載されている「デジタル映像コンテンツ制作講座」はその流れから生まれた講座です。

さて、今年の全体フォーラムですが、本報告書を作成するにあたり改めてこの一年を振り返って見ました。全体フォーラムの講演の中で、庭の語源と定義についての話がありました。

庭とは作業するところであり、ワークショップそのものなのだとのこと。



### 「作業するところ=庭=ワークショップ」

そこで、我々6団体が作業している拠点を「庭」と考えてみます。今回「恵庭そぞろ歩き」を行ったのは、この前年の石狩管内6市の「ご当地訪問ツアー」の縮小版であったわけですが、実は、去年のツアーが今年の庭めぐりの拡大版であったと振り返ることもできます。

デジタル映像コンテンツ制作講座は「恵庭そぞろ歩き」で狙っていることと同じことで、いわば「お庭拝見」です。各地の活動拠点という庭を、デジタル・ITツールを使ってそぞろ歩きをしてみようという事に他なりません。

合宿ミーティングで出た企画の「経営相談会議」はいわば、皆さんのお庭の肥料はどうしていますか、種はどう選んで、苗はどう育ててますかというような庭の維持や作り方を話しあう場でありました。

そして庭のアナロジーで私たちの活動を振り返ることができたのが、今回の開催地が、恵まれた庭・「恵庭」であったからであり、恵庭で行って得られた意味であると思います。

庭の中に今回のテーマであった『伝える技術・受け取る心』があったのです。

今回の報告書は、そのような観点を取り入れて作成しました。

『現場＜庭＞を見ること』、『現場＜庭＞を伝えること』、『現場＜庭＞を支えること、メンテナンスすること』の3部構成でこの一年間を振り返る報告書としました。したがって本書のタイトルも「全体フォーラム報告書」ではなく、「全体フォーラム・アクティブアクティブ報告書」にしました。

全体フォーラムについてはもちろんのことですが、ただその“点”の出来事だけでなく、一連の流れも感じながら本書に目を通していただければ幸いです。